つなげたい考え。

セミや意識調査

千趣会は通信販売や頒布会などを手がけており、顧客の9割が女性。そのため女性会社員の生活の活性化を重視し、展開を進める。交流のある企業との連携による合同イベントからスタートする。基盤が整った支援組織がある企業やユニークな取り組みを行う企業と情報交換を行うことで、自社の活動のブラッシュアップにもつながるとみている。

中小認定制度を刷新

神戸市 産振財団

【神戸】神戸市産業振興財団は、神戸市内の中小製造業で優れた技術を持つ企業を認定する制度「神戸発・優れた技術」を刷新した。認定後10年が経過した企業には、現地調査・企業プレゼンテーションによる更新認定審査を実施、同制度の情報鮮度を保つことを目指す。

同制度は発足から15年で、2012年11月上旬時点での認定企業数は98社。12年度以降は、同制度を中小企業支援の柱に据え、企業間ビジネスマッチングなど販路開拓支援や、専門家派遣など経営支援を強化する。毎年発行する認定企業カタログについても、記事量を倍増させて情報発信を強化していく。

12年度の認定審査を実施、48社を認定した。そのうち新規認定は3社で、更新認定は45社。新規認定企業3社と認定理由は次の通り。

▽河田鉄工所（神戸市長田区）＝油圧機器主要部品の精密機械加工に関する高度な技術力並びに特色ある製品づくり▽プレテック（神戸市東灘区）＝順送型内ピアスナットかしめとタッピングボルト締めの一貫生産体制▽ファクトリー＝トヨタ九州など女子学生が訪問

【北九州】経済産業省素形材産業室による、学生にモノづくり現場に触れてもらう取り組み「オープンファクトリー」の第5弾が福岡県で開かれた。今回は女子学生にモノづくり現場を体感してもらおうと、福岡女学院大学の1―3年生26人がトヨタ自動車九州（福岡県宮若市）と戸畑ターレット工作所（北九州市小倉南区）を訪問した。

トヨタ九州では高級車「レクサス」生産ラインを見学。続々と車両が流れていく様子を、女子学生たちは興味深そうに見つめていた。

一方の戸畑ターレットでは自動車部品など非鉄金属加工を見学。清永誠社長は「我々中小企業が作る部品が一つ自動車は完成しさんも将来魅力なり、組織で活しい」とエー た。

学生からは「驚い職場今、べき か」見、が「女子モノ場（二ット

大阪府は中小業活動促進法に8件の経営革新認した。承認企マは次の通り。

▽松村合金所（東大阪市）用圧肉バーリングに関する高度な技術力並びに特色ある製品づくり▽神戸天然物化学（神戸市西区）＝有機合成・分離精製・バイオ分野における化合物製造に関する高度な技術力並びに特色ある製品づくり

▽ファクトリー＝トヨタ九州など女子学生が訪問

▽福岡県でオープンファクトリー

▽大阪や周辺地域で活動する女性会社員向けのコミュニティーが目立たないことから地域連携をテーマとする。女性の長期戦力化を課題とする企業が多いとみており、発展を見込む。

松井一郎大阪府知事は27日、就任1年を迎える。「大阪都構想」を掲げて同時に当選した橋下徹大阪市長とともに走り続けた1年。就任後1カ月で市と大阪府市統合本部を設置し、その半年後に重複する機関の統合や運営形態の見直しなどの基本方針を示した。企業誘致には国際戦略総合特区に府外から進出した場合の地方税減免を掲げるなど、市と一体となり改革に取り組んできた。2年目に向け、思いを聞いた。

大阪府知事

松井一郎 氏に聞く

府市ともに駆け抜けた1年

プレゼン強化し魅

―6月に市と府市統合本部の基本方針を決定した。今後は具体的作業になるが、課題は。

「一つずつ決定していくことで、統合などによる経費削減や機能強化が大阪全体のポテンシャルを引き上げる。それが魅力となり投資につながると思う。これだけやっている地域は他にない。一方で、役所は宣伝が下手。プレゼン力や広報力が必要だ。特区での地方税減免も、この圧倒的なインセンティブが伝えきれていない。減免だけを話すのではなく、例えば統合本部で大学や消防、病院の改革も議論しており、教育や安全安心もセットにして大阪に住み仕事をするメリットを売り込まなければならない。副知事や副市長にもPRをがんばってもらう」

―統合本部発足時、二重行政の解消などで不交付団体を目指すと掲げたが、見通しは。

「景気も悪く厳しいが、その目標を目指してむだけ。税収を上げに政策などのさまざ性化装置を作ってい装置を使ってくれる投資が必要で、すぐうわけにはいかない」

―新エネルギー産興やモノづくり支援進めているが、経済厳しい。中小企業対う考えるか。

「モノづくりでは、テクやローテクの技や人材支援をしてい ービス業には、市と作る大阪観光局など

まつい・いちろう（昭61）福岡工業大03年大阪府議会議員連続当選）、11年11府知事就任。大阪府48歳。